

YAMAHA

GUITAR/BASS AUTO TUNER

YT-150

取扱説明書

このたびはヤマハ・ギター/ベースオートチューナー YT-150 をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

安全へのこころがけ

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには

～以下の指示を必ず守ってください～

絵表示について
この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。
絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。

- 注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
- 禁止の行為を告げるものです。例：分解禁止

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。
	この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。
	この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。
	修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。
	次のような場所での使用や保存はしないでください。 ・ 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など) ・ 水気の高く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所 ・ ホコリの多い場所 ・ 振動の多い場所 ※ 特に自動車内は直射日光などにより非常に高温となります。この機器を車内に放置しないでください。
	この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対に入れないでください。火災、感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、過度に積み重ねての使用はしないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。
	この機器は、正常な通気が妨げられることのない所に設定して、使用してください。
	使用後の電池は火中に捨てないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。一般のゴミとは分けて、決められた場所に捨てましょう。
	電池は表示された極性(+、-)を間違えないようにしてください。間違えまますと電池の破裂や液もれによって、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	本体を、故意に投げたり落としたりしないでください。本体の故障だけでなく、思わぬけがの原因となることがあります。
	電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。

ご使用になる前に

◆使用する場所

故障の原因となりますので、次のような場所でご使用にならないでください。
・ 直射日光の当たる場所
・ 温度や湿度が非常に高い場所や低い場所
・ 砂やホコリの多い場所

◆電池について

・ YT-150は、6F22(006P)乾電池で動作します。
・ ご使用にならない時は、必ず電源スイッチをOFFにしておいてください。また、電池の液漏れを防ぐため、長時間ご使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。
・ 電池が切れたままで長時間放置しますと、電池の液漏れなど、故障の原因となります。お早めに電池交換してください。

◆取り扱いがやさしく

スイッチや本体に無理に力を加えたり、本体を落としたりしますと、故障の原因となります。ご注意ください。

◆お手入れ

外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー系の液体、強燃性のポリッシャーなどは絶対にご使用にならないでください。

◆保証書の手続き

製品をお買い上げいただいた日より1年間は保証期間となり、修理料金は無償とさせていただきます。ただし、保証書に販売店印、購入年月日の記入がない場合は、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。必ずお求めになった販売店で保証書の手続きを行なった後、大切に保管してください。

◆取扱説明書は大切に

この取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管してください。

ご使用済みの電池は、火の中に入れてください。また、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。

仕様

表示	: 液晶インジケーター、チューニングガイド(3点LED)
弦名	: ギター E, A, D, G, B, E ベース B, E, A, D, G, C
調律範囲	: A0 (27Hz)~C8 (4186Hz)
調律精度	: ±1セント
ジャストチューン範囲	: ±3セント
基準ピッチ範囲	: A4=435~446Hz (1Hzステップ)
入力	: INPUT端子(6φモノラル)、内蔵マイクロホン
出力	: OUTPUT端子(6φモノラル)
電源	: 6F22(006P)9V乾電池×1個
電池寿命	: 約50時間(AUTOモード時)
外形寸法	: 118(W)×63(H)×24.5(D) mm
重量(本体)	: 130g(乾電池含む)
付属品	: 6F22 9V乾電池×1個

* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

●保証書

保証書は、販売店にて「販売店印、お買い上げ年月日」の押印、記入をしてお渡し致しますので、お買い上げの際にご確認の上、大切に保管ください。

●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

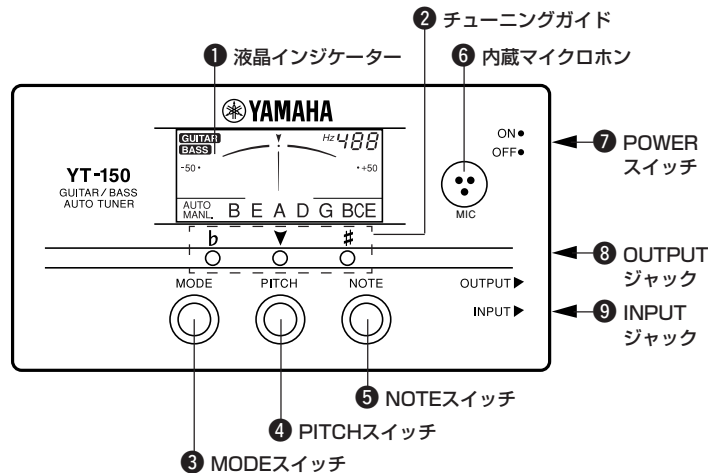
●保証期間経過後の修理について

修理可能な部分は、ご要望により有料にて修理させていただきます。但し、修理料金の金額や補修部品の保有期間の都合により、相当品の代替購入をおすすめする場合がございます。

ヤマハ株式会社

弦打楽器事業部 国内営業部 ギタードラム営業課
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号
TEL 053-460-2433

■各部の名称

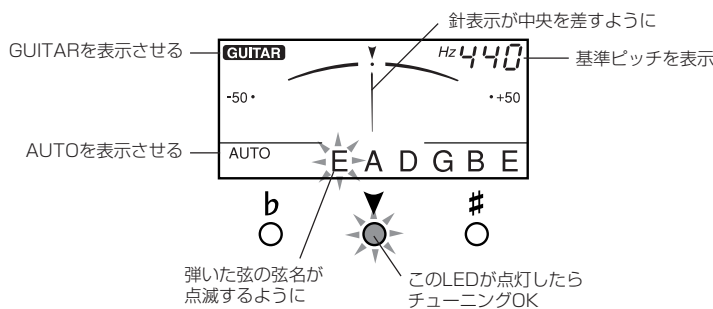


■チューニングの方法

●オートチューニング：AUTO

- 弾いた弦に一番近い音の音名(弦名)と、その音に対して高いか低いかを自動的に表示します。
- エレキギター/ベースの場合は、INPUTジャック⑨にギターからのコードを接続します。(この時、OUTPUTジャック⑧とアンプを接続しておけば、本機の電源のON/OFFに関わらずギターからの信号はアンプに送られます。ただし、ノイズの原因となりますので、演奏中は本機の電源を切っておいてください。)
※ INPUTジャック⑨にプラグが接続されている時には、内蔵マイクロホン⑥は作動しません。
 - POWERスイッチ⑦をONにします。
液晶インジケーター①に基準ピッチ(初期設定はA4=440Hz)が約2秒間点滅表示され、その後自動的にオートチューニングのモードになります。(液晶インジケーター①のGUITARとAUTOが点灯します)
 - 基準ピッチを変更する場合は、PITCHスイッチ④により設定します。(「基準ピッチの設定」の項参照)
 - チューニングする楽器に合わせて、MODEスイッチ③を押して液晶インジケーター①にGUITARまたはBASSを表示させます。
 - アコースティックギターをチューニングする場合は、ギターのサウンドホールに内蔵マイクロホン⑥をできるだけ近付けます。
 - チューニングしたい弦を弾きます(単音で鳴らします)。
液晶インジケーター①の弦名、針表示およびチューニングガイド②を見ながら楽器をチューニングします。
- 6-1. まず、弾いた弦の弦名が点滅するようにおおまかにチューニングします。
6-2. 次に、針表示が中央を差し、チューニングガイド②の緑のLEDが点灯するように細かくチューニングしたら完了です。

例) ギターの6弦(E)をオートチューニングする場合



●マニュアルチューニング：MANL.

- 自分で音名(弦名)を選んでおいてチューニングします。
- オートチューニングの手順1~5と同様の設定をします。
 - チューニングしたい音名(弦名)が点滅するまで、NOTEスイッチ⑤を数回押します。マニュアルチューニングのモードになり、液晶インジケーター①の左下部にMANL.と表示されます。
 - オートチューニングの手順5と同様に、チューニングしたい弦を弾き、チューニングをします。
 - 別の弦をチューニングする場合は、上記手順2, 3を繰り返します。

■基準ピッチの設定

- POWERスイッチ⑦をONにします。ピッチは440Hzにセットされます。(点滅表示)
- PITCHスイッチ④を繰り返し押して、希望する基準ピッチ(435~446Hz)に設定します。

435→436→437→438→439→440→441→442→443→444→445→446

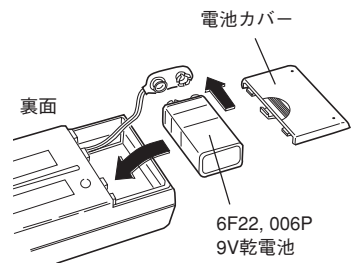
- PITCHスイッチ④を押す操作を止めた後、約2秒後に自動的にチューニングモードへ戻ります。

※ POWERスイッチ⑦をOFFにすると、ピッチ設定は440Hzにリセットされます。

■電池交換

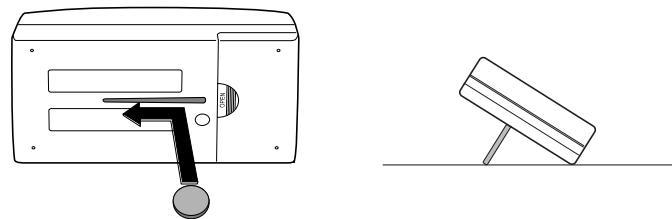
電池が消耗してくると、液晶インジケーターが暗くなってきます。電池が消耗したままだと、誤動作する場合があります。お早めに新しい電池(6F22, 006P 9V乾電池)と交換してください。

- ※ 電池の交換は、必ずPOWERスイッチ⑦をOFFにしてから行ってください。
- ※ 電池の極性(+、-)を間違えないように注意してください。



■チルトスリットの使い方

本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。下図のようにスリットにコインなどをセットしてお使いください。



ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

[修理受付および修理品お預り窓口]		
北海道サービスセンター	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015 仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025 川崎市中原区木月 1184	TEL (044) 434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048 浜松市上西町 911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029 高松市丸亀町 8-7 ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113 広島市安佐南区西原 6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-1158

ヤマハ株式会社各事業所/営業所 (商品に関する問い合わせ先)

弦打楽器国内営業部	〒430-8650 浜松市中沢町 10 番 1 号	TEL (053) 460-2433
EM東京事業所	〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-5476
EM北海道営業所	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-2-10	TEL (022) 222-6147
EM関東営業所	〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11	TEL(03) 5488-5447
EM大阪事業所	〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM名古屋営業所	〒460-8588 名古屋市中区錦 1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM広島営業所	〒730-8628 広島市中区紙屋町 1-1-18 ヤマハビル	TEL (082) 244-3749
EM九州営業所	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2130

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

GUITAR/BASS AUTO TUNER

YT-150

OWNER'S MANUAL

Thank you for purchasing the YAMAHA YT-150 Guitar/Bass Auto Tuner.

Please read this manual thoroughly and keep it in a safe place for future reference.

■ PRECAUTIONS

- ◆ To prevent damage, do not use the tuner in the following locations:
 - places where the unit will be in direct sunlight;
 - places subject to temperature and humidity extremes;
 - places that are sandy or dusty.
- ◆ To power the tuner, use only a 6F22 or 006P 9V dry cell battery.
- ◆ For maximum battery life, always be sure the tuner is turned OFF when not in use.
- ◆ If an exhausted battery is left in the unit for an extended period of time, it may leak and cause malfunctioning of the unit. When the battery becomes exhausted, always remove it and replace it as soon as possible.
- ◆ Do not subject the tuner to strong physical shock or vibration. Do not use excessive force on any of the controls.
- ◆ Never use solvents such as benzene or thinner to clean the tuner. Wipe clean with a soft, dry cloth.
- ◆ After reading the owner's manual, keep it in a safe place for future reference.

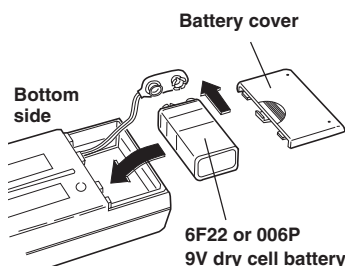
**Never dispose of used batteries by burning them.
Also make sure to keep batteries away from children.**

■ BATTERY REPLACEMENT

When battery power runs down, the LCD indicator will grow dim.

Continued use of the tuner may result in inaccurate operation. Replace the battery with a new one (6F22 or 006P 9V dry cell battery) as soon as possible.

The battery compartment is in the rear of the tuner. Remove the old battery and replace it with a new one of the same type. Be careful to connect the battery in the correct polarity.



* Always turn the POWER switch ⑦ to "OFF" before changing the battery.

■ SPECIFICATIONS

Indicators	: Liquid crystal display, Tuning guides
Tuning Notes	: GUITAR E, A, D, G, B, E BASS B, E, A, D, G, C
Note Setting Range	: A0 (27Hz) – C8 (4186Hz)
Accuracy	: ±1 cent
In Pitch Accuracy	: ±3 cent
Standard Pitch Setting Range	: A4=435 – 446Hz (1Hz steps)
Input	: INPUT (6φ monaural), microphone
Output	: OUTPUT (6φ monaural)
Power Source	: 9V dry cell battery (006P or 6F22)
Battery Life	: Approximately 50 hrs. (AUTO mode)
Dimensions (W x H x D)	: 118 x 63 x 24.5 mm (4.6" x 2.5" x 1.0")
Weight (including battery)	: 130 g (4.6 oz)
Accessory	: 9V dry cell battery (6F22) x 1

* Specifications and external appearance are subject to change without notice.

FCC INFORMATION (U.S.A.)

1. IMPORTANT NOTICE: DO NOT MODIFY THIS UNIT!

This product, when installed as indicated in the instructions contained in this manual, meets FCC requirements. Modifications not expressly approved by Yamaha may void your authority, granted by the FCC, to use the product.

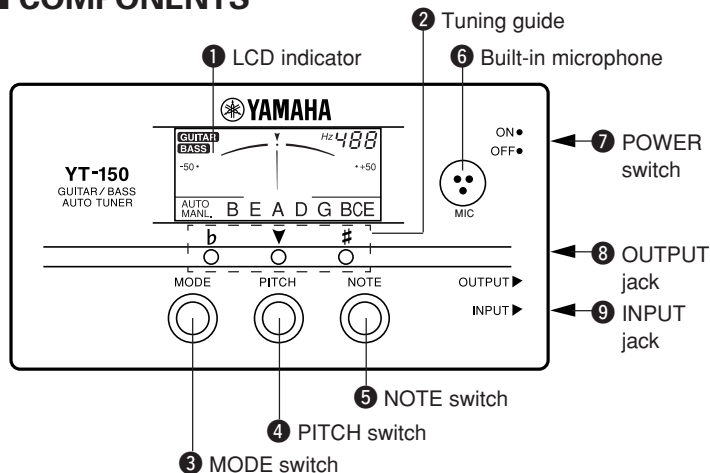
2. IMPORTANT: When connecting this product to accessories and/or another product use only high quality shielded cables. Cable/s supplied with this product MUST be used. Follow all installation instructions. Failure to follow instructions could void your FCC authorization to use this product in the USA.

3. NOTE: This product has been tested and found to comply with the requirements listed in FCC Regulations, Part 15 for Class "B" digital devices. Compliance with these requirements provides a reasonable level of assurance that your use of this product in a residential environment will not result in harmful interference with other electronic devices. This equipment generates/uses radio frequencies and, if not installed and used according to the instructions found in the users manual, may cause interference harmful to the operation of other electronic devices. Compliance with FCC regulations does not guarantee that interference will not occur in all installations. If this product is found to be the source of interference, which can be determined by turning the unit "OFF" and "ON", please try to eliminate the problem by using one of the following measures:

- Relocate either this product or the device that is being affected by the interference.
- Utilize power outlets that are on different branch (circuit breaker or fuse) circuits or install AC line filter/s.
- In the case of radio or TV interference, relocate/reorient the antenna. If the antenna lead-in is 300 ohm ribbon lead, change the lead-in to co-axial type cable.
- If these corrective measures do not produce satisfactory results, please contact the local retailer authorized to distribute this type of product. If you can not locate the appropriate, please contact Yamaha Corporation of America, Electronic Service Division, 6600 Orangethorpe Ave, Buena Park, CA 90620

The above statements apply ONLY to those products distributed by Yamaha Corporations of America or its subsidiaries.

■ COMPONENTS



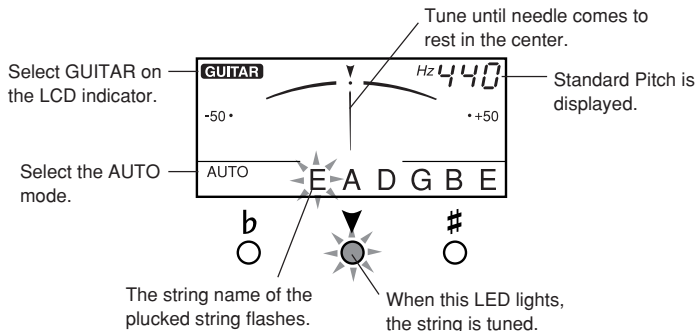
■ TUNING PROCEDURES

● Auto Tuning : AUTO

The tuner will automatically select the closest note name (string name) to the plucked string's pitch.

- For electric guitars/basses, connect the guitar cable to the **INPUT** jack ⑨. (The **OUTPUT** jack ⑧ can also be connected to an amplifier. The guitar's signal will be sent to the amp whether the tuner's power is switched ON or OFF. However, it might result in added noise to the line so you should switch the tuner's power OFF during performance.)
 - * The built-in microphone ⑥ will not operate when a cable is plugged into the **INPUT** jack ⑨.
- Turn the **POWER** switch ⑦ ON. The standard pitch (factory preset A=440Hz) will flash on LCD indicator ① for about 2 seconds. After that, the tuner will enter the auto tuning mode (GUITAR and AUTO will appear on the LCD indicator ①).
- Use the **PITCH** switch ④ to change the standard pitch. (Refer to the "Setting the Standard Pitch" section below.)
- Press the **MODE** switch ③ to select the instrument to be tuned. GUITAR or BASS will appear on the LCD indicator ①.
- To tune an acoustic guitar, place the tuner's internal microphone ⑥ as close as possible to the guitar's sound hole.
- Pluck the string to be tuned. (Do not pluck more than one string at a time.) The appropriate string name will appear on the LCD indicator ①. Use the needle and the tuning guide ② as a reference while tuning the instrument.
 - First, adjust the string so that the appropriate string name indicator flashes.
 - Next, tune the string until the needle rests in the middle and the green LED of the tuning guide ② lights.

example) To tune the "E" string on a six string guitar.



● Manual Tuning : MANL.

Each note must be selected individually as needed.

- Carry out the same settings as described in steps 1 through 5 of the Auto Tuning section.
- Continue to press the **NOTE** switch ⑤ until the desired note name (string name) flashes. The tuner is now in the manual mode, MANL. appears in the bottom left hand corner of the LCD display ①.
- As in step 5 of the Auto Tuning section, pluck the string to be tuned and proceed to tune the string.
- Repeat steps 2 and 3 to tune other strings.

■ SETTING THE STANDARD PITCH

- Turn the **POWER** switch ⑦ ON. The pitch is set to 440 Hz (flashing display).
- Continuously press the **PITCH** switch ④ until the desired standard pitch (435 – 446Hz) is selected.

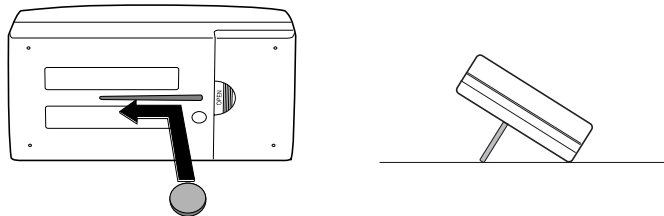
435→436→437→438→439→440→441→442→443→444→445→446

- When the **PITCH** switch ④ has not been pressed for about 2 seconds, the tuner will automatically return to the tuning mode.

* When the POWER switch ⑦ is turned OFF, the standard pitch setting will be reset to A=440Hz.

■ TILT SLIT

The tuner can be tilted back by using the slit in the rear panel. Insert a coin or similar flat object into the slit and tilt back as shown in the diagram below.



THIS DIGITAL APPARATUS DOES NOT EXCEED THE "CLASS B" LIMITS FOR RADIO NOISE EMISSIONS FROM DIGITAL APPARATUS SET OUT IN THE RADIO INTERFERENCE REGULATION OF THE CANADIAN DEPARTMENT OF COMMUNICATIONS.

持込修理

品名/品番	ギター/ベースオートチューナー/YT-150		
保証期間	本体: お買上げの日から1年間		
※お買上げ日	年	月	日
お客様	ご住所 〒		
	お名前		
	電話 ()		
※店名	印		
住所			
電話	()		

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しく下さい。

保証書

この度はヤマハ・ギター/ベースオートチューナーをお買上げ戴きましてありがとうございました。
本書は、本書記載内容で修理を行なう事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。(詳細は裏面をご覧ください)

修理(サービス)メモ

年月日	内容	担当者	印

ヤマハ株式会社 弦打楽器事業部 国内営業部
ギタードラム営業課
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10番1号
TEL 053-460-2433



ACCORDEUR AUTOMATIQUE DE GUITARE/BASSE

YT-150

MODE D'EMPLOI

Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'accordeur automatique de guitare/basse YAMAHA YT-150.

Nous vous prions de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver en lieu sûr pour vous y reporter ultérieurement.

■ PRECAUTIONS

- ◆ Afin de ne pas endommager l'accordeur, évitez de l'utiliser dans des endroits répondant aux conditions suivantes :
 - plein soleil
 - humidité ou températures excessives.
 - sable ou poussière
- ◆ Pour alimenter l'accordeur, utilisez exclusivement une pile sèche 6F22 ou 006P de 9 Volts.
- ◆ Pour garantir une longévité maximale des piles, mettez toujours l'accordeur hors tension lorsque vous ne l'utilisez pas.
- ◆ Les piles épuisées qui restent dans l'accordeur pendant une longue période, peuvent fuir et provoquer des anomalies de fonctionnement. Lorsque les piles présentent des signes de décharge, remplacez-les dans le délai le plus bref.
- ◆ L'accordeur ne doit pas subir de chocs ni de vibrations importants. Ne le manipulez jamais avec une force excessive.
- ◆ N'utilisez jamais de solvants tels que de la benzine ou du diluant pour nettoyer l'accordeur. Essuyez-le avec un chiffon doux et sec.
- ◆ Après avoir lu ce mode d'emploi, conservez-le en lieu sûr pour vous y reporter ultérieurement.

Ne jetez jamais les piles au feu et conservez-les toujours hors de portée des enfants.

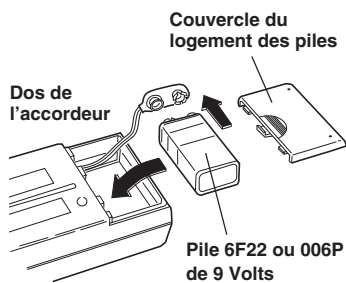
■ REMPLACEMENT DE LA PILE

Lorsque la puissance de la pile devient insuffisante, l'afficheur à cristaux liquides s'assombrit.

Le fait de continuer à utiliser l'accordeur dans ces conditions risque de ne pas permettre de fournir une indication précise. Remplacer la pile par une pile sèche neuve (6F22 ou 006P 9 V) dans les meilleurs délais.

Le logement de la pile est situé au dos de l'accordeur. Retirer la pile usée et la remplacer par une pile neuve du même type. Faire très attention de placer la pile en respectant les polarités.

* *Toujours mettre l'interrupteur POWER 7 sur la position "OFF" avant de remplacer la pile.*



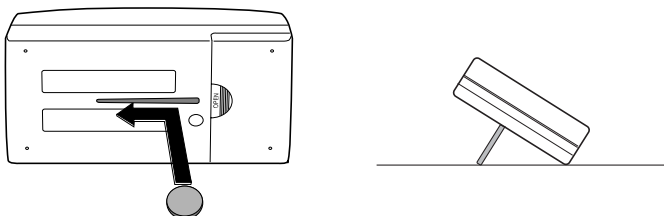
■ FICHE TECHNIQUE

Indicateurs et témoins	: Afficheur à cristaux liquides, guide d'accord (à 3 diodes électroluminescentes)
Notes d'accord	: guitare E, A, D, G, B, E basse B, E, A, D, G, C
Plage de réglage de note	: A0 (27Hz) - C8 (4186Hz)
Précision	: ± 1 centième
Précision de hauteur	: ± 3 centièmes
Plage de réglage de hauteur standard	: A4=435 - 446Hz (par incréments d'1 Hz)
Entrée	: INPUT (6 φ monaurale), microphone
Sortie	: OUTPUT (6 φ monaurale)
Source d'alimentation	: Pile sèche de 9V (006P ou 6F22)
Autonomie des piles	: 50 heures environ. (Mode AUTO)
Dimensions (L x H x P)	: 118 x 63 x 24,5 mm
Poids (piles incluses)	: 130 g
Accessoires	: Pile sèche de 9V (6F22) x 1

* Les spécifications et l'aspect externe peuvent être modifiés sans aucun avis.

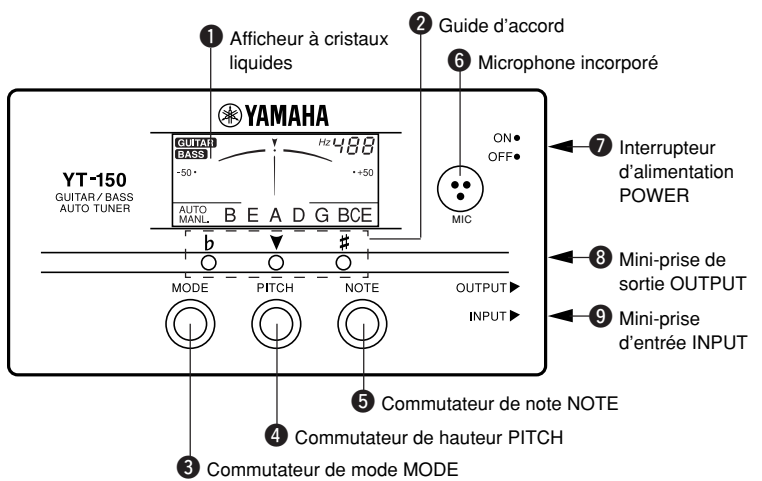
■ FENTE D'INCLINAISON

L'accordeur peut être maintenu incliné en utilisant la fente du panneau arrière. Introduire une pièce de monnaie, ou autre objet plat similaire, dans la fente et incliner l'accordeur de la manière illustrée.



LE PRESENT APPAREIL NUMERIQUE N'EMET PAS DE BRUITS RADIOELECTRIQUES DEPASSANT LES LIMITES APPLICABLES AUX APPAREILS NUMERIQUES DE LA "CLASSE B" PRESCRITES DANS LE REGLEMENT SUR LE BROUILLAGE RADIOELECTRIQUE EDICTE PAR LE MINISTERE DES COMMUNICATIONS DU CANADA.

■ ORGANES



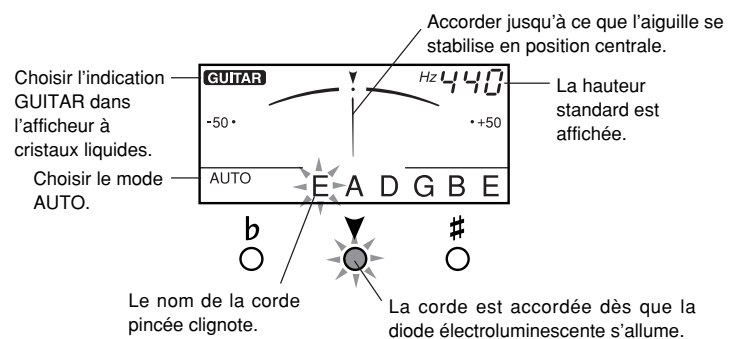
■ MÉTHODES D'ACCORD

● Accord automatique : AUTO

L'accordeur sélectionnera automatiquement le nom de la note (le nom de la corde) le plus proche de la tonalité de la corde pincée.

1. Avec les guitares électriques ou basses, raccorder le câble de guitare à la mini-prise **INPUT 9**.
(Il est également possible de raccorder la mini-prise **OUTPUT 8** à un amplificateur. Que l'alimentation de l'accordeur soit appliquée ou non avec l'interrupteur d'alimentation, le signal de la guitare sera envoyé à l'amplificateur. Cependant, cela risque de perturber la ligne en la parasitant quelque peu de sorte qu'il est préférable de couper l'alimentation de l'accordeur pendant que cette opération se déroule.)
* *Le microphone incorporé 6 est automatiquement asservi dès que la prise d'un câble est raccordée à la mini-prise INPUT 9.*
2. Mettre l'accordeur sous tension avec l'interrupteur d'alimentation **POWER 7**. La hauteur standard du son (dont le pré-réglage a été fait sur A = 440 Hz en usine) apparaîtra en clignotant dans l'afficheur à cristaux liquides **1** pendant 2 secondes environ. Ensuite, l'accordeur se commutera en mode d'accord automatique (GUITAR et AUTO apparaîtront dans l'afficheur à cristaux liquides **1**).
3. Se servir du commutateur **PITCH 4** pour changer la hauteur standard. (Reportez-vous à la description intitulée "Réglage de la hauteur de standard" ci-après.)
4. Appuyer sur le commutateur **MODE 3** pour choisir l'instrument à accorder. GUITAR ou BASS apparaîtront dans l'afficheur à cristaux liquides **1**.
5. Pour accorder une guitare acoustique, placer le microphone interne de l'accordeur **6** le plus près possible de la bouche de la guitare.
6. Pincer la corde qui doit être accordée. (Ne pas pincer plus d'une corde à la fois.) La corde appropriée apparaîtra dans l'afficheur à cristaux liquides **1**. Utiliser en même temps l'aiguille et le guide d'accord **2** comme moyen de référence tout en accordant l'instrument.
 - 6-1. Régler tout d'abord la corde pour faire en sorte que l'indicateur du nom de la corde appropriée clignote.
 - 6-2. Ensuite, accorder la corde jusqu'à ce que l'aiguille se stabilise en position centrale et que la diode électroluminescente verte du guide d'accord **2** s'allume.

Exemple) Comment accorder la corde de mi d'une guitare à six cordes.



● Accord manuel : MANL.

Chaque note doit être choisie individuellement à chaque fois que c'est nécessaire.

1. Effectuer les mêmes réglages que ceux qui sont mentionnés aux étapes 1 à 5 ci-dessus du passage consacré au procédé d'accord automatique.
2. Maintenir le commutateur **NOTE 5** enfoncé jusqu'à ce que le nom de la note que l'on veut obtenir (nom de la corde) clignote. L'accordeur se trouve maintenant en mode d'accord manuel et MANL. apparaît dans le coin inférieur gauche de l'afficheur à cristaux liquides **5**.
3. Comme au cours de l'étape 5 du passage consacré au procédé d'accord automatique, pincer la corde qui doit être accordée et faire en sorte que la corde soit accordée.
4. Refaire les étapes 2 et 3 pour accorder les autres cordes.

■ RÉGLAGE DE LA HAUTEUR STANDARD

1. Mettre l'accordeur sous tension avec l'interrupteur d'alimentation **POWER 7**. La hauteur est calée sur 440 Hz (l'afficheur clignote).
2. Maintenir le commutateur **PITCH 4** enfoncé jusqu'à ce que la hauteur standard désirée soit obtenue (435 - 446 Hz).

435→436→437→438→439→440→441→442→443→444→445→446

3. Si le commutateur **PITCH 4** est laissé ainsi sans être enfoncé pendant 2 secondes environ, l'accordeur reviendra automatiquement en mode d'accord.

* *Lorsque l'alimentation de l'accordeur est coupée avec l'interrupteur d'alimentation POWER 7, la hauteur standard est ramenée sur A = 440 Hz.*



ELEKTRONISCHES GITARREN/BASS- STIMMGERÄT

YT-150

BEDIENUNGSANLEITUNG

Vielen Dank für den Kauf des elektronischen Gitarren/Baß-Stimmgeräts YT-150 von YAMAHA.

Lesen Sie diese Anleitung bitte aufmerksam durch, und bewahren Sie sie dann zur späteren Bezugnahme gut auf.

■ VORSICHTSMASREGELN

- ◆ Verwenden Sie das Stimmgerät nicht an Orten, wo es den folgenden schädlichen Einflüssen ausgesetzt ist:
 - Direktes Sonnenlicht
 - Extreme Temperatur- und Luftfeuchtigkeitswerte
 - Sand und Staub
- ◆ Verwenden Sie als Stromquelle ausschließlich 9V-Trockenbatteriezellen vom Typ 6F22 oder 006P.
- ◆ Schalten Sie das Stimmgerät nach Gebrauch stets aus, um die Batterien zu schonen.
- ◆ Wenn verbrauchte Batterien längere Zeit im Gerät verbleiben, können sie auslaufen und Schäden verursachen. Wenn die Batterien schwächer werden, sollten Sie sie daher entnehmen und so bald wie möglich durch neue ersetzen.
- ◆ Schützen Sie das Stimmgerät vor starken Schlägen und Erschütterungen. Wenden Sie beim Betätigen der Bedienelemente nicht zu viel Kraft auf.
- ◆ Verwenden Sie zum Säubern des Stimmgeräts keine Lösungsmittel wie Benzin oder Verdünner. Entfernen Sie Staub und Schmutz mit einem weichen, trockenen Tuch.
- ◆ Bewahren Sie diese Anleitung nach dem Durchlesen gut auf.

Achten Sie bitte auf korrekte Entsorgung verbrauchter Batterien. Batterien dürfen nicht verbrannt werden! Achten Sie bitte auch darauf, daß Batterien nicht in Kinderhände geraten.

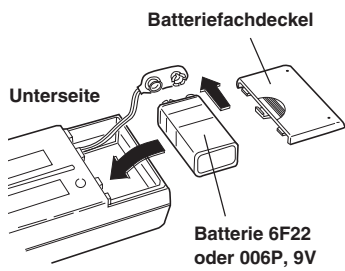
■ BATTERIEWECHSEL

Wenn die Batterie erschöpft ist, sind die Anzeigen des Flüssigkristall-Displays schwächer als gewöhnlich.

Falls das Stimmgerät in diesem Zustand weiterbenutzt wird, kann es ungenau arbeiten. Ersetzen Sie die Batterie (9-V-Trockenbatterie vom Typ 6F22 oder 006P) daher so bald wie möglich durch eine neue.

Das Batteriefach befindet sich auf der Rückseite. Die alte Batterie durch eine neue des gleichen Typs austauschen. Beim Anschließen der Batterie auf korrekte Polung achten.

* Vor dem Wechseln der Batterie den Betriebs-schalter ⑦ unbedingt auf OFF stellen.



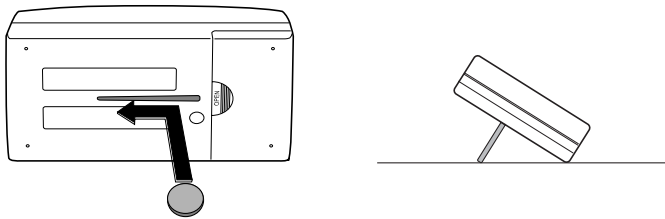
■ TECHNISCHE DATEN

Anzeigen	: Flüssigkristall-Display, Stimmanzeigen (3 LEDs)
Stimmnoten	: E-Gitarre E, A, D, G, B, E Baß B, E, A, D, G, C
Noteneinstellbereich	: A0 (27Hz) bis C8 (4186Hz)
Präzision	: ±1 cent
Tonhöhenauigkeit	: ±3 cent
Standardtonhöhen-Einstellbereich	: A4=435 bis 446Hz (in Schritten zu 1 Hz)
Eingänge	: INPUT-Buchse (6 mm, mono), Mikrofon
Ausgang	: OUTPUT-Buchse (6 mm, mono)
Power Source	: 9V dry cell battery (006P or 6F22)
Batterie-Lebensdauer	: ca. 50 Studen (AUTO-Betrieb)
Abmessungen (B x H x T)	: 118 x 63 x 24.5 mm
Gewicht (einschließlich Batterien)	: 130 g
Zubehör	: 9V Batterie (6F22) x 1

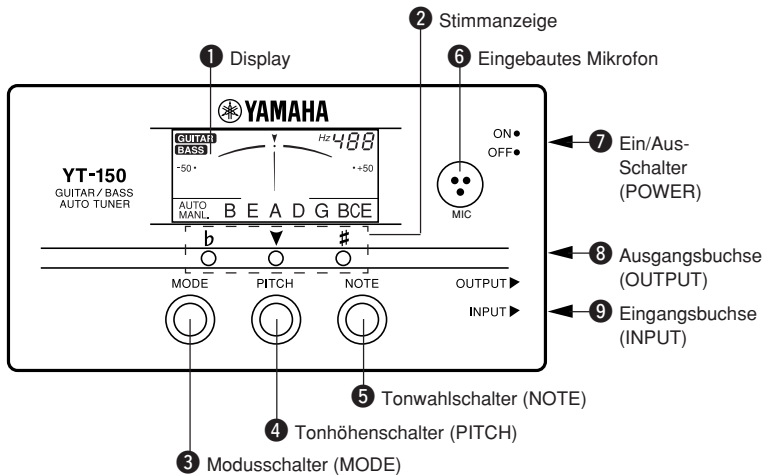
* Änderungen an Daten und Design vorbehalten.

■ KIPPSCHLITZ

Das YT-150 weist einen Schlitz auf der Rückseite auf, wodurch es nach hinten gekippt werden kann. Eine Münze o.ä. in den Schlitz einführen und das Gerät nach hinten kippen, wie gezeigt.



■ BAUTEILE



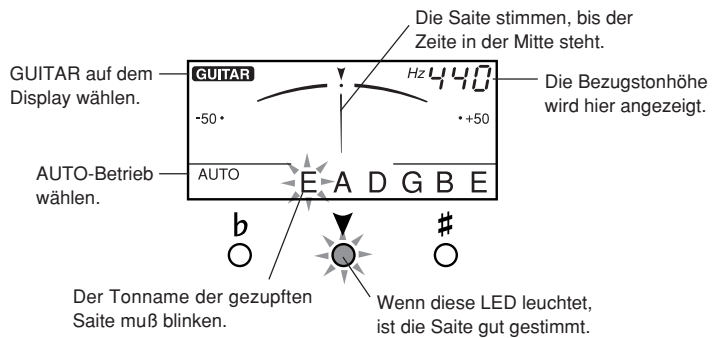
■ STIMMVORGANG

● Automatisches Stimmen: AUTO

Das Stimmgerät wählt automatisch den Ton, der dem Ton der gezupften Saite am nächsten kommt.

1. Eine elektrische Gitarre/Baßgitarre wird mit dem Gitarrenkabel an die **INPUT**-Buchse ⑨ angeschlossen. (An der **OUTPUT**-Buchse ⑧ kann ein Verstärker angeschlossen werden. Das Gitarrensignal wird bei ein- und ausgeschaltetem Stimmgerät an den Verstärker weitergeleitet. Bei eingeschaltetem Stimmgerät können jedoch Rauscheinstreuungen auftreten, weshalb dieses beim Spielen stets ausgeschaltet sein sollte.)
* Wenn die **INPUT**-Buchse ⑨ beschaltet ist, arbeitet das eingebaute Mikrofon ⑥ nicht.
2. Stellen Sie den **POWER**-Schalter ⑦ auf ON.
Die Bezugstonhöhe (werkseitig auf A = 440 Hz voreingestellt) blinkt etwa 2 Sekunden lang auf dem Display ①. Danach schaltet das Stimmgerät auf automatischen Stimmbetrieb (GUITAR und AUTO erscheinen dabei auf dem Display ①).
3. Drücken Sie nun, falls erforderlich, den **PITCH**-Schalter ④, um die Bezugstonhöhe zu ändern. (Einzelheiten siehe EINSTELLEN DER BEZUGSTONHÖHE an späterer Stelle.)
4. Geben Sie nun mit dem **MODE**-Schalter ③ den Typ der zu stimmenden Gitarre vor. Der Gitarrentyp (GUITAR oder BASS) wird auf dem Display ① angezeigt.
5. Wenn es sich um eine akustische Gitarre handelt, halten Sie das Stimmgerät so, daß das eingebaute Mikrofon ⑥ sich so dicht wie möglich am Schalloch der Gitarre befindet.
6. Zupfen Sie die zu stimmende Saite an. (Vermeiden Sie ein gleichzeitiges Zupfen mehrerer Saiten.) Der Name des erkannten Tons erscheint dabei auf dem Display ①. Stimmen Sie nun die Saite mit Hilfe des Zeigers und der Stimmmanzeige ②.
- 6-1. Stimmen Sie die Saite zunächst, bis ihr Tonname auf dem Display blinkt.
- 6-2. Stimmen Sie die Saite nun fein ein, bis der Zeiger in der Mitte steht und die grüne LED der Stimmmanzeige ② leuchtet.

Beispiel: Stimmen der E-Saite einer 6saitigen Gitarre



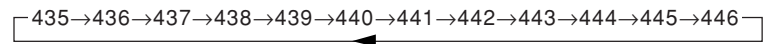
● Manuelles Stimmen: MANL.

Beim manuellen Stimmbetrieb müssen Sie die Note der zu stimmenden Saite wählen.

1. Zunächst die in Schritten 1 bis 5 unter "Automatisches Stimmen" beschriebenen Vorbereitungen treffen.
2. Den **NOTE**-Schalter ⑤ drücken, bis der Tonname der zu stimmenden Saite blinkt. Das Stimmgerät ist nun auf manuellen Betrieb gestellt, und MANL. wird zur Bestätigung unten links auf dem Display ① angezeigt.
3. Nun die Saite anzupfen und stimmen, wie in Schritt 5 unter "Automatisches Stimmen" beschrieben.
4. Schritte 2 und 3 wiederholt ausführen, um andere Saiten zu stimmen.

■ EINSTELLEN DER BEZUGSTONHÖHE

1. Stellen Sie den **POWER**-Schalter ⑦ auf ON. Die Tonhöhe ist auf 440 Hz voreingestellt (Blinkanzeige).
2. Drücken Sie den **PITCH**-Schalter ④, bis die gewünschte Bezugstonhöhe (435 bis 446 Hz) angezeigt wird.



3. Wenn der **PITCH**-Schalter ④ etwa 2 Sekunden lang nicht betätigt wird, schaltet das Gerät automatisch auf Stimmbetrieb.

* Wenn Sie den **POWER**-Schalter ⑦ zum Ausschalten des Geräts auf OFF stellen, wird die Bezugstonhöhe wieder auf A = 440 Hz rückgesetzt.

Bescheinigung des Importeurs

Hiermit wird bescheinigt, daß der / die / das **GUITAR/BASS AUTO TUNER Typ : YT-150**

(Gerät, Typ, Bezeichnung)

in Übereinstimmung mit den Bestimmungen der

VERFÜGUNG 1046/84

(Amtsblattverfügung)

funktentstört ist.

Der Deutschen Bundespost wurde das Inverkehrbringen dieses Gerätes angezeigt und die Berechtigung zur Überprüfung der Serie auf Einhaltung der Bestimmungen eingeräumt.

YAMAHA Europa GmbH

Name des Importeurs



AFINADOR AUTOMÁTICO DE GUITARRA Y BAJO

YT-150

MANUAL DEL PROPIETARIO

Gracias por comprar el YAMAHA YT-150 Afinador Automático de Guitarra y Bajo.

Por favor lea este manual completamente y manténgalo en un lugar seguro para futuras consultas.

PRECAUCIONES

- ◆ Para prevenir daños, no usar el afinador en las situaciones siguientes:
 - los lugares donde la unidad estará expuesto a la luz del sol directa de forma continuada;
 - los lugares sujetos a temperaturas y humedad extremas;
 - lugares que son arenosos o polvorientos.
- ◆ Para alimentar el afinador, use sólo una pila 6F22 o 006P 9V.
- ◆ Para la máxima vida de la pila, asegúrese que el afinador se apaga cuando no se usa.
- ◆ Si una pila gastada queda en la unidad por un periodo extendido de tiempo, puede dañar la unidad. Cuando las pilas se agotan, quítelas y reemplácelas lo más pronto posible.
- ◆ No someta el afinador a golpe físico fuerte o vibración. No use fuerza excesiva en cualquiera de los mandos.
- ◆ Nunca use disolventes como gasolina o aguarrás para limpiar el afinador. Límpielo con un paño suave y seco.
- ◆ Después de leer el manual, manténgalo en un lugar seguro para futuras consultas.

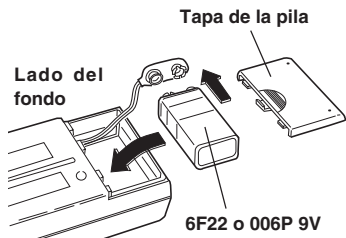
**Nunca tire las pilas usadas al fuego.
También asegúrese de mantener las pilas lejos de los niños.**

REEMPLAZO de la PILA

Cuando la pila está baja, el indicador de LCD perderá fuerza.

El uso continuado del afinador así puede producir funcionamiento inexacto. Reemplace la pila con una nueva (6F22 o 006P 9V) lo mas pronto posible.

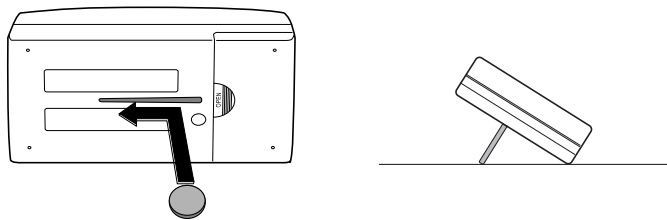
El compartimento de la pila esta situado en la parte trasera del afinador. Quite la pila vieja y reemplácela con una nueva del mismo tipo. Tenga cuidado de conectar la pila en la polaridad correcta.



* Apague siempre el afinador (interruptor en OFF) antes de cambiar la pila.

ABERTURA de INCLINACION

El afinador puede ser inclinado atrás usando la abertura en la parte trasera. Inserte una moneda u objeto similar en la abertura y incline atrás como se muestra en el diagrama debajo.

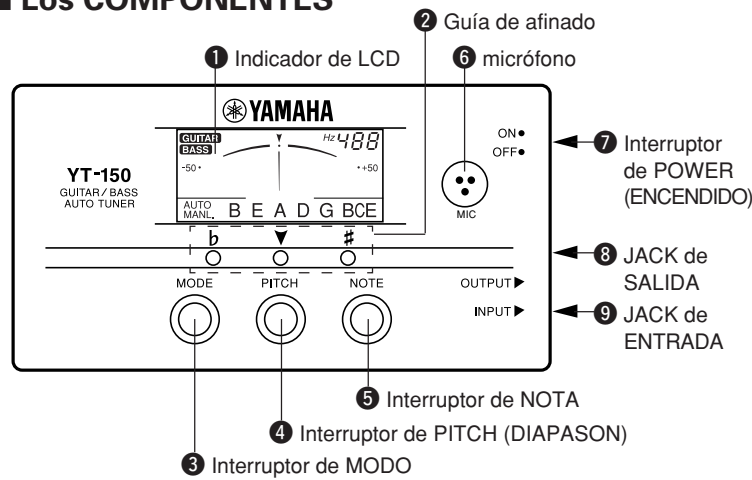


ESPECIFICACIONES

Indicadores	: Pantalla de cristal líquido, guías de afinación,
Notas de afinación	: GUITARRA: E, A, D, G, B, E BAJO: B, E, A, D, G, C
Rango de Ajuste	: A0 (27Hz) – C8 (4186Hz)
Exactitud	: + / - 1 cont
Exactitud del Diapasón	: + / - 3 cont
Rango de Ajuste Diapasón normal	: A4=435 – 446Hz (1Hz pasos)
Entradas	: ENTRADA (6 monofónico), micrófono
Salida	: SALIDA (6 monofónico)
Alimentación	: 9V pila (006P o 6F22)
Vida de la pila	: Aproximadamente 50 hrs. (Modo AUTO)
Dimensiones (W x H x D)	: 118 x 63 x 24.5 mm
Peso (incluida la pila)	: 130 g
Accesorio	: 9V pila (6F22) x 1

* Las especificaciones y la apariencia externa están sujetas a cambio sin previo aviso.

Los COMPONENTES



PROCEDIMIENTOS DE AFINADO

● Afinación automática: AUTO

El afinador seleccionará el nombre de la nota más cercana de la cuerda tocada.

1. Para la guitarra ó bajo eléctrico, conecte el cable de la guitarra al jack de ENTRADA ⑨. (El jack de salida también puede conectarse a un amplificador. La señal de la guitarra se enviará al amplificador esté el afinador encendido ó no. Sin embargo, podría producir ruido en la línea, así que usted debe apagar el afinador durante la actuación).

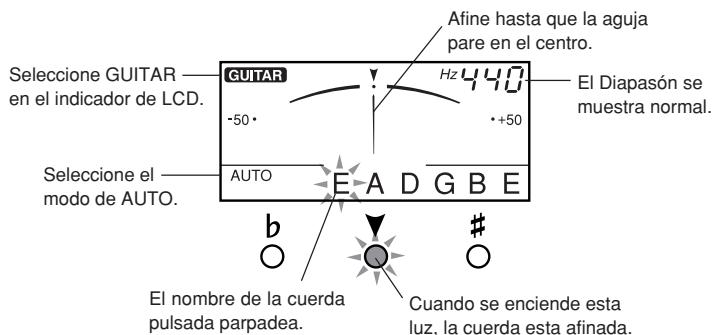
* El micrófono no operará cuando un cable se conecte en el jack de ENTRADA.

2. Encienda el interruptor POWER.

El diapasón normal (la fábrica prefijo A=440Hz) encenderá el indicador LCD durante aproximadamente 2 segundos. Después de eso, el afinador entrará en el modo auto(GUITAR y AUTO aparecerá en el indicador LCD).

3. Use el interruptor de PITCH para cambiar el diapasón normal. (Refiérase a al sección "Poniendo el Diapasón Normal" más abajo)
4. Apriete el interruptor MODO para seleccionar el instrumento a afinar. BASS ó GUITAR aparecerán en el indicador LCD.
5. Para afinar una guitarra acústica, ponga el micrófono del afinador lo más cerca posible de la boca de la guitarra.
6. Pulse la cuerda a afinar. (No pulse más de una cuerda a la vez). El nombre de la cuerda apropiada aparecerá en el indicador LCD. Use la aguja y la guía de afinación como referencia mientras afina el instrumento.
- 6-1. Primero, ajuste la cuerda para que el indicador el nombre de la cuerda apropiada parpadee.
- 6-2. Luego, afine la cuerda hasta que la aguja pare en el medio y en el LED verde de las luces de la guía de afinación.

ejemplo) para poner a punto la cuerda "E" en una guitarra de seis cuerdas.



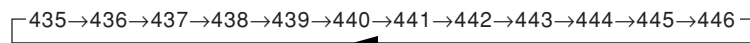
● La Afinación manual: MANL.

Cada nota debe seleccionarse individualmente como se necesite.

1. Haga los mismos ajuste como se describió en los pasos 1 a 5 de la sección de Afinación automática.
2. Continúe apretando el interruptor de NOTA hasta que el nombre de la nota deseado (nombre de la cuerda) parpadee. El afinador está ahora en el modo manual, MANL. aparece la esquina inferior izquierda del LCD.
3. Como en el paso 5 de la sección de Afinación automática, pulse la cuerda a afinar y proceda a afinarla.
4. Repita los pasos 2 y 3 para afinar las otras cuerdas.

PONIENDO EL DIAPASON NORMAL

1. Encienda el interruptor de encendido. El diapasón se pone a 440 Hz (pantalla parpadeante).
2. Continuamente apriete el interruptor de PITCH hasta que el diapasón deseado (435 – 446Hz) sea seleccionado.



3. Cuando el interruptor de PITCH no se ha mantenido apretado durante aproximadamente 2 segundos, el afinador volverá automáticamente al modo de afinación.

* Cuando el interruptor de ENCENDIDO se apaga, los ajustes de diapason se pondrán a A=440Hz.



Accordatore per chitarra / basso

YT-150

MANUALE UTENTE

Grazie per avere scelto l'accordatore YAMAHA YT-150.

Vi preghiamo di leggere attentamente questo manuale e di conservarlo per eventuali necessità.

■ AVVERTENZE

- ◆ Per prevenire guasti, non utilizzare l'accordatore nelle seguenti locazioni:
 - luoghi direttamente esposti al sole;
 - luoghi soggetti a livelli estremi di temperatura e umidità;
 - luoghi sabbiosi o polverosi.
- ◆ Per alimentare l'accordatore utilizzare esclusivamente batterie 9V dry cell (6F22 o 006P).
- ◆ Per ottenere la massima durata della batteria, assicurarsi sempre che l'accordatore sia spento quando inutilizzato.
- ◆ Se una batteria scarica è lasciata all'interno dell'apparecchio per un periodo di tempo prolungato, può rilasciare perdite e causare danni all'unità. Quando la batteria è scarica è necessario rimuoverla e sostituirla appena possibile.
- ◆ Non sottoporre l'accordatore a forti urti o vibrazioni. Non usare eccessiva forza sui controlli.
- ◆ Non utilizzare mai solventi come benzene o diluente per pulire l'accordatore. Usare un panno soffice e asciutto.
- ◆ Dopo aver letto il manuale, conservarlo in un posto sicuro per eventuali necessità future.

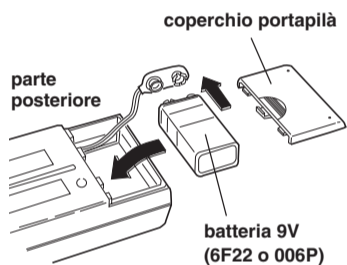
**Non tentare di bruciare le batterie usate.
Tenere le batterie fuori dalla portata dei bambini.**

■ SOSTITUZIONE DELLA BATTERIA

Quando la batteria è scarica, l'indicatore LCD si affievolisce. L'utilizzo continuato dell'accordatore può determinare un funzionamento non corretto. Sostituire la batteria con una nuova (6F22 o 006P) appena possibile.

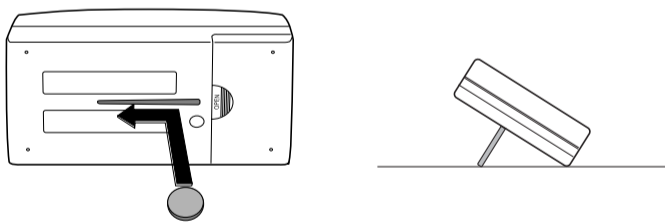
Il compartimento della batteria si trova sul retro dell'accordatore. Rimuovere la vecchia batteria e sostituirla con una nuova dello stesso tipo. Fare attenzione a collegare la batteria con la corretta polarità.

* Impostare sempre l'interruttore POWER 7 su "OFF" prima di sostituire la batteria.



■ INCLINAZIONE DELL'ACCORDATORE

L'accordatore può essere inclinato all'indietro utilizzando la fessura posta nel pannello posteriore. Inserire una moneta o un oggetto piatto simile e posizionare come nel disegno.

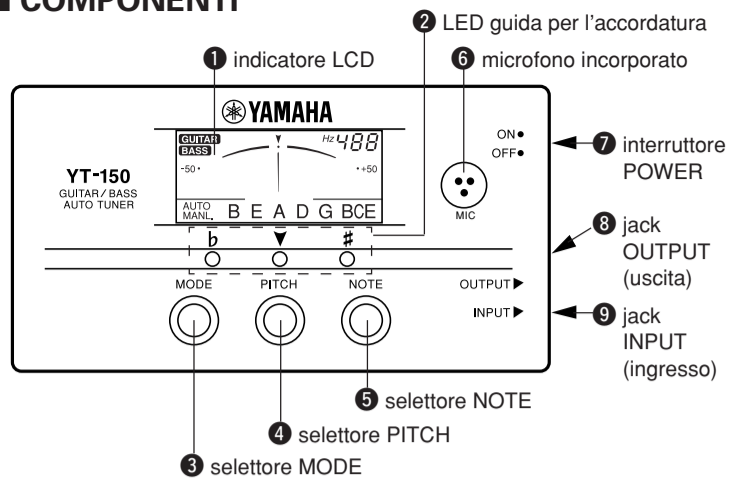


■ SPECIFICHE TECNICHE

Indicatori	: Indicatore LCD, LED guida per l'accordatura
Note selezionabili	: CHITARRA E, A, D, G, B, E BASSO B, E, A, D, G, C
Gamma di accordatura	: A0 (27 Hz) – C8 (4186 Hz)
Accuratezza	: +/- 1 cent
Accuratezza "In Pitch"	: +/- 3 cent
Gamma di intonazione	: A4= 435 – 446 Hz (in incrementi di 1 Hz)
Ingresso	: INPUT (jack mono, microfono)
Uscita	: OUTPUT (jack mono)
Alimentazione	: batteria 9V (6F22 o 006P)
Durata della batteria	: 50 ore circa (modalità di Accordatura automatica)
Dimensioni	: 118 x 63 x 24,5 mm
Peso (batteria inclusa)	: 130 g
Accessori	: batteria 9V (6F22) x 1

* Specifiche soggette a cambio senza preavviso.

■ COMPONENTI



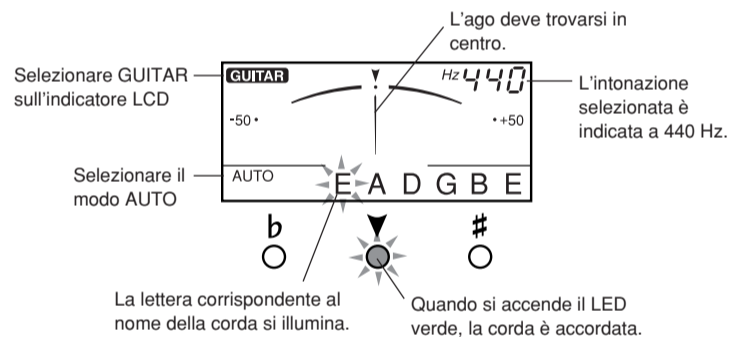
■ PROCEDURA DI ACCORDATURA

● Accordatura automatica : AUTO

L'accordatore selezionerà automaticamente la nota più vicina (indicata con il nome della corda) all'accordatura della corda suonata.

1. Con chitarre/bassi elettrici, collegare il cavo proveniente dallo strumento al jack **INPUT** 9. Il jack **OUTPUT** 8 può essere collegato all'amplificatore. Il segnale della chitarra sarà inviato all'amplificatore con l'interruttore impostato sia in ON che in OFF. Si consiglia comunque di impostare l'interruttore su OFF durante l'esecuzione per evitare l'introduzione di rumori indesiderati.
 - * Il microfono incorporato 6 non funziona se un cavo è collegato al jack INPUT 9.
2. Impostare l'interruttore **POWER** 7 su ON. L'intonazione (standard pitch) sarà indicata in modo lampeggiante sull'indicatore LCD 1 per circa 2 secondi. Dopo, l'accordatore si posizionerà in modalità di Accordatura automatica (le indicazioni GUITAR e AUTO appariranno sull'indicatore LCD 1.)
3. Utilizzare il selettore **PITCH** 4 per cambiare l'intonazione di riferimento (vedere la sezione "Impostare l'intonazione" più avanti).
4. Premere il selettore **MODE** 3 per selezionare il tipo di strumento da accordare. La scritta GUITAR o BASS apparirà nell'indicatore LCD 1.
5. Per accordare una chitarra acustica, posizionare il microfono incorporato 6 il più vicino possibile alla buca della chitarra.
6. Suonare la corda da accordare (non suonare più di una corda alla volta). Il nome della corda apparirà nell'indicatore LCD 1. Utilizzare l'ago e gli indicatori LED guida per l'accordatura 2 come riferimento.
 - 6-1. Innanzitutto, regolare la corda in modo che si illumini il corretto indicatore.
 - 6-2. In seguito, perfezionare l'accordatura in modo che l'ago si posizioni in mezzo e il LED verde (fra gli indicatori LED guida per l'accordatura 2) si illumini.

Esempio) per accordare la corda MI (E) su una chitarra a sei corde :



● Accordatura manuale : MANL.

Ognuna delle note deve essere selezionata individualmente secondo necessità.

1. Seguire le stesse regolazioni descritte nei punti da 1 a 5 nella sezione "Accordatura automatica".
2. Premere ripetutamente il selettore **NOTE** 5 fino a far apparire il nome della nota (e della corda) desiderata. L'accordatore si trova ora in modalità di Accordatura manuale.
3. L'indicazione MANL appare nell'angolo in basso a sinistra dell'indicatore a LED 1.
4. Come descritto nel punto 5 della sezione Accordatura automatica, suonare la corda e procedere all'accordatura.
5. Ripetere i punti 2 a 4 per accordare le altre corde.

■ IMPOSTARE L'INTONAZIONE (Standard pitch)

1. Impostare l'interruttore **POWER** 7 su ON.
2. Premere ripetutamente il selettore **PITCH** 4 fino a selezionare (con incrementi di 1 Hz) l'intonazione desiderata.

435→436→437→438→439→440→441→442→443→444→445→446

3. Quando il selettore **PITCH** 4 non è premuto per almeno 2 secondi, l'accordatore ritorna automaticamente in modalità di accordatura.

* Quando l'interruttore **POWER** 7 è impostato su OFF, l'impostazione di intonazione viene riportata a A = 440 Hz.



GITAAR/BAS AUTO TUNER YT-150

HANDLEIDING

Dank u voor de aanschaf van de YAMAHA YT-150 Gitaar/Bas Auto Tuner.

Lees deze handleiding alstublieft aandachtig door, en bewaar deze op een veilige plek zodat u er later nog eens iets in op kan zoeken.

■ VOORZORGSMAATREGELEN

- ◆ Gebruik de tuner niet op de volgende lokaties om schade te voorkomen:
 - plaatsen waar het apparaat in direct zonlicht staat;
 - plaatsen die worden blootgesteld aan extreme temperaturen en vochtigheid;
 - plaatsen waar veel zand ligt of waar het stoffig is.
- ◆ Voorzie de tuner alleen van stroom middels een 6F22 of 006P 9V dry cell batterij.
- ◆ Doe de tuner altijd uit (OFF) als u hem niet gebruikt om de batterijen te sparen.
- ◆ Als u een bijna lege batterij voor langere tijd in het apparaat laat zitten, kan deze gaan lekken en schade veroorzaken aan het apparaat. Als de batterij leeg raakt, moet u deze altijd verwijderen en deze zo snel mogelijk vervangen.
- ◆ Stel het instrument niet bloot aan overdreven schokken of sterke vibraties. Ga niet te ruw om met de knoppen.
- ◆ Gebruik nooit oplosmiddelen zoals benzine of verdunner om de tuner schoon te maken. Maak het instrument schoon met een zachte, droge doek.
- ◆ Bewaar de handleiding na het lezen op een goede plek, zodat u er in een later stadium ook nog eens wat in op kunt zoeken.

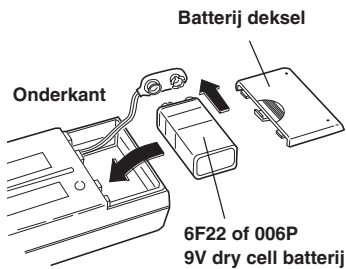
**Verbrand gebruikte batterijen nooit.
Houdt batterijen buiten het bereik van kinderen.**

■ BATTERIJ VERVANGEN

Zodra de batterij leegraakt, wordt de LCD indicator minder goed leesbaar. Als u desondanks doorgaat met het gebruiken van de tuner kan het zijn dat deze niet goed meer werkt. Vervang derhalve de batterij zo snel mogelijk met nieuwe batterijen (6F22 of 006P 9V dry cell batterij).

De batterijhouder bevindt zich op de achterkant van de tuner. Verwijder de oude batterijen en vervang deze door nieuwe batterijen van hetzelfde type. Let hierbij erop dat de polariteit van de batterij juist wordt aangesloten.

* Doe altijd het instrument uit (AAN/UIT schakelaar ⑦ uit (=“OFF”)) alvorens de batterij te verwisselen.



Bij dit produkt zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet u ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

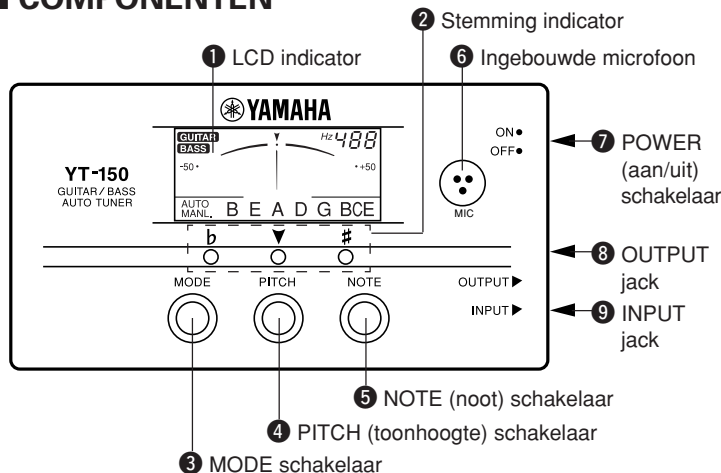


■ SPECIFICATIES

Indicators	: Liquid crystal display, Stemmingsindicators
Stem Noten	: GUITAR E, A, D, G, B, E BASS B, E, A, D, G, C
Nootbereik	: A0 (27Hz) – C8 (4186Hz)
Nauwkeurigheid	: +/- 1 cent
Nauwkeurigheid In Toonhoogte	: +/- 3 cent
Standaard Toonhoogte Instelling Bereik	: A4=435 – 446Hz (1Hz stappen)
Input	: INPUT (6 mono), microfoon
Output	: OUTPUT (6 mono)
Voedingsbron	: 9V dry cell batterij (006P of 6F22)
Batterijduur	: Ongeveer 50 uur (AUTO mode)
Afmetingen (B x H x D)	: 118 x 63 x 24.5 mm
Gewicht (inclusief batterij)	: 130 g
Los verkrijgbaar	: 9V dry cell batterij (6F22) x 1

* Specificaties en uiterlijk kunnen zich wijzigen zonder dat hier vantevoren over bericht wordt.

■ COMPONENTEN



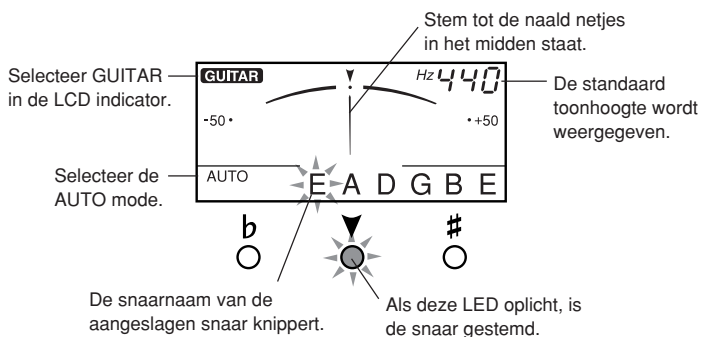
■ HANDELINGEN BIJ HET STEMMEN

● Automatisch Stemmen : AUTO

De tuner selecteert automatisch de dichtstbijzijnde nootnaam (snaarnaam) van de aangeslagen snaartoonhoogte.

1. Sluit de gitaarkabel bij elektrische gitaren/bassen aan op de **INPUT** jack ⑨. (De **OUTPUT** jack ⑧ kan bovendien worden aangesloten op een versterker. Het gitaarsignaal wordt vervolgens naar de versterker gestuurd mits de tuner aanstaat (aan/uit schakelaar op ON). Dit kan echter leiden tot extra bijgeluiden in het lijnniveau als u de tuner tijdens het spelen uitzet.
* De ingebouwde microfoon ⑥ werkt niet als er een kabel is aangesloten op INPUT jack ⑨.
2. Doe de tuner aan met de **POWER** schakelaar ⑦ (ON). De standaard toonhoogte (fabriekspreset A=440Hz) knippert ongeveer ① of 2 seconden in de LCD indicator. Hierna gaat de tuner naar de automatische stemmode (GUITAR en AUTO verschijnen in de LCD indicator ①).
3. Wijzig de standaard toonhoogte met de **PITCH** schakelaar ④. (Zie het “Het instellen van de Standaard Toonhoogte” gedeelte hieronder.)
4. Druk op de **MODE** schakelaar ③ om het instrument te selecteren dat gestemd moet worden. GUITAR of BASS verschijnt in de LCD indicator ①.
5. Om een akoestische gitaar te stemmen moet u de ingebouwde microfoon ⑥ van de tuner zo dicht mogelijk bij het klankgat van de gitaar houden.
6. Sla de snaar aan die u wilt stemmen. (Sla niet meer dan één snaar tegelijk aan.)
De betreffende snaarnaam verschijnt in de LCD indicator ①. Let op de naald en de stemmingsindicator als een referentie tijdens het stemmen van het instrument.
- 6-1. Sla eerst de snaar aan zodat de juiste snaarnaam indicator gaat knipperen.
- 6-2. Stem vervolgens de snaar tot dat de naald netjes in het midden staat en de groene LED van de stemmingsgids oplicht.

voorbeeld) Om de “E” snaar te stemmen van een gitaar met zes snaren.



● Handmatig stemmen: MANL.

Iedere noot moet naar wens individueel geselecteerd worden.

1. Voer dezelfde handelingen uit de omschreven handelingen in stappen 1 t/m 5 van het Automatisch Stemmen gedeelte.
2. Ga door met het indrukken van de **NOTE** schakelaar ⑤ tot de gewenste nootnaam (snaarnaam knippert.) De tuner is nu in manual (handmatige) mode, MANL. verschijnt onderin de linkerhoek van de LCD display ①.
3. Sla, net als in stap 5 van het Automatische stemmen gedeelte, de snaar aan die u wilt stemmen en begin met het stemmen van de snaar.
4. Herhaal stappen 2 en 3 om de andere snaren te stemmen.

■ STANDAARD TOONHOOGTE INSTELLEN

1. Zet het instrument aan met de aan/uit schakelaar (**POWER** schakelaar ⑦ ON). De toonhoogte wordt op 440 Hz gezet (knipperende display).
2. Druk nu herhaaldelijk op de **PITCH** schakelaar ④ tot de gewenste standaard toonhoogte is geselecteerd (435 – 446Hz).

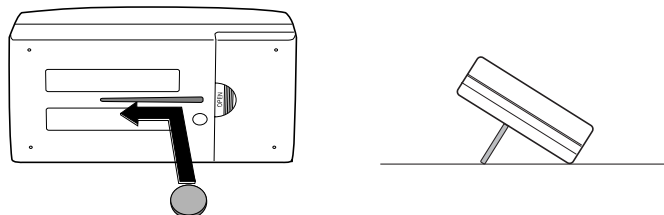
435→436→437→438→439→440→441→442→443→444→445→446

3. Als de **PITCH** schakelaar ④ twee seconden lang niet wordt ingedrukt keert de tuner automatisch terug naar de stem mode.

* Als u tuner uitzet (POWER schakelaar ⑦ op OFF), wordt de standaard toonhoogte instelling gereset op A=440Hz.

■ UITKLAP UITSPARING

De tuner kan worden uitgeklap met behulp van de uitsparing op de achterkant. Steek een munt of soortgelijk voorwerp in de uitsparing en klap de tuner uit zoals getoond wordt in het onderstaande diagram.



無償修理規定

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合には、最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。

- (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) 消耗部品の交換。
 - (7) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。

